

リハビリテーション学（理学療法学）からのお知らせ



大学院生による特別講義

2026年3月6日、大学院生（田鹿研 修士2年 橋本 康生氏）による特別講義を開催いたしました。本講義では、大学院入試に関する具体的な情報提供に加え、自身の経験に基づく「課題解決能力の向上」や「エビデンス構築の重要性」についてお話しいただきました。参加した学生からは「大学院での学びが具体化され、進学への意欲がより強固になった」との声が寄せられ、キャリア形成を考える上で極めて有意義な機会となりました。



2年生 装具作成実習の様子。装具完成！



作成した装具を付けて、歩行。歩行への影響は？



3年生 地域での介護予防実習の様子



4年生 病院実習の様子

2026年3月24日、卒業式が挙行了されました。前日は理学療法士国家試験の合格発表日で、理学療法学専攻の学生全員が見事合格を果たすことができました。4年間の研鑽で培った専門知識と技術を臨床の場で存分に発揮し、全人的医療の実現に向けて、一人ひとりが力強く活躍することを心より期待しています。



群馬大学医学部保健学科及び大学院保健学研究科【看護学、生体情報検査科学、リハビリテーション学(理学療法学・作業療法学)】では、社会の課題解決を目指して、研究、教育、地域保健活動、国際保健活動に積極的に取り組んでいます。また、これらの活動を進めるための組織として保健学研究科附属研究・教育センターが設置され、このセンター内には5つの推進室があります。今回はリハビリテーション学(理学療法学)からの報告になります。私たちの活動を**保健学科公式インスタグラム@gunmahealth**も併せてご覧いただければ幸いです。

